令和3年度 第2回 高石市環境審議会 議事録

【開催日時】 令和4年2月21日（月） 午前10時から開催

【開催場所】 高石市役所 別館3階 多目的ホール

【出席委員】 委員18名中17名の委員が出席され開催いたしました。

江口 充	奥田 悦雄	向井 太志
吉田 長裕	吉田 弘之	明石 宏隆
久保田和典	清水 明治	永山 誠
田代 保蔵	田中三和子	東口 正一
藤田 政明	岡田 秀樹	穴瀬 雅美
吉野 昌史	山内 和彦	

（以上委員17名）

【欠席委員】 矢田 克嗣

【傍聴者】 3名

【日 程】 （1）議案第1号 計画の基本的事項等について
（2）議案第2号 その他について

【確認事項】 本日の議事録署名人には、明石委員と藤田委員が指名された。
第1回の審議会で委員から質問・意見が提出された。前回の計画案との変更点を事務局より説明を行った。

【質疑応答】 議案第1号 計画の基本的事項等について

（会 長）本計画の審議内容の再確認ですが、2030年に向けての計画なのか、2050年までを視野に入れての計画なのかを明確にしてほしい。

（事務局）本計画内のP26に記載のとおり、2050年は長期目標として考えていますが、本計画は2030年までの9年間を対象にしている。

（委 員）前回の審議会で意見をしたゼロカーボンの定義等を本計画に反映していただいて、わかりやすくなって見やすい。

（会 長）緑化等の吸収分については検討すると回答があったが、2050年は遠い未来では

ないので、早急に検討すべき。

(事務局) この計画ではCO₂削減をメインにしている部分が多いが、次回の更新等では吸収部分については大きなテーマになると考えています。

(会長) 国家レベルでは二国間クレジットは可能だが、自治体間では法的にできるのか。また検討しているのか。

(事務局) 現時点では自治体間でのクレジットのやりとりに関する法整備されていません。2050年を見据えた上では、そのようなことも課題であります。

(会長) 本計画は2030年までに40%以上削減を掲げているが、ゼロカーボンシティを宣言しているなら、本気で2050年にゼロカーボンシティを目指してもらいたい。

(事務局) 了解しました。

(委員) 風車や風力発電についてですが、高石市の海の幅が1kmほどしかないため、設置する台数が少ないと想定される。さらに漁業関係の保障問題や逆の環境問題が発生することも考えられるので、その点についても考慮していただきたい。

(会長) 淡路島では海の近くに大きな風力発電を設置しているので、そういった事例を参考にして考えてもらえればいかと。また臨海部の道路に街路樹の代わりに小さな風車を設置することで風力を活用できると考えられる。

(委員) 2022年から実施される本計画は、ゼロからスタートするのではなく、すでに2013年を基準として2018年比で28%削減されている。本計画が実施される前の28%削減されている原因を分析なしではこの計画は考えられない。

(事務局) 28%減の多くは、産業部門の排出量の減（エネルギー量あたりのCO₂排出量の減）が主な理由のため、臨海地区の企業努力ではないかと推測されます。また、本市の施策として、平成25年度から可燃ごみの一部従量制を実施し、住民1人1日あたりの可燃ごみ等の排出量が20%以上減少し、同時期から家庭用燃料電池普及促進補助金等の施策を行ってまいりました。これらの施策も少なからず温室効果ガス削減につながっていると考えています。

(委員) CO₂排出量の多くを占める産業部門ですが主に臨海企業と推測されます。そういった企業は独自の削減目標を持っていると思うが、行政も臨海企業に足を運んで、今以上の削減を協力願うべきだと思います。

(事務局) 本市としては、企業努力をしやすいように令和4年4月から高石市企業立地等促進条例を改正し、新エネルギー事業に対して減免するなどの税制優遇を行い、さらなる温室効果ガスの削減に取り組んでいただけるように税制措置を行います。また、本計画を策定するにあたり、臨海企業と直接話をして、本計画に協力していただくようお願いをしています。

(委員) 現時点で、臨海企業からCO₂削減の計画の報告はあるのか。

(事務局) 特に大手の臨海企業は独自の削減計画があり、計画に沿って実施していくと聞いて

います。

(委員) 企業の協力も必要だが、市民の協力も必要と思う。高石市ではエネファーム等の補助制度を以前からしているが、来年度は市民に対してどのような支援を行うのか。

(事務局) 令和4年度予算は、現時点では、議会の承認を得ていないため確定はしていませんが、令和4年度予算(案)として、地域脱炭素計画策定事業を行うための予算を計上しております。当該事業により策定する予定の「地域脱炭素計画」は、今回審議していただいている地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定した上で、地方公共団体による地域における再生可能エネルギー導入の目標設定や地域住民との合意形成等の戦略を策定する計画です。当該計画を策定する中で今回ご提案いただいた取り組みについて調査研究してまいりたいと考えています。

(委員) わかりました。

(委員) 臨海企業にCO₂削減をお願いする前に、前提として生産量を維持した上で、削減の協力をお願いするべきだ。そこを考えずに削減削減と言うだけならば、企業が他市に移転することも考えられる。そうなれば高石市の将来の経済にも大きな影響を及ぼす。

(事務局) 経済と環境のバランスを取ることは難しいが、両方を両立させるように進めていきたいと考えています。

(会長) P34に記載の電力の排出係数について、ここも重要である。企業がCO₂削減をしなくても、排出係数が下がればCO₂が削減される。この図を見ると、2011年から数値が高くなり、2017年から下がっている。この原因は原子力発電が再開したためである。関西電力の原発の割合は日本で一番高い。つまり企業努力でCO₂が削減しているのか、電力の排出係数で削減しているのかを把握するべきである。

(事務局) 再生可能エネルギー由来の電力が増えることでも、電力の排出係数が下がる。電力の排出係数の分析も今後の検討課題と考えています。

(会長) 市民・事業者对环境意識に対するアンケートをとっているが、アンケートも大事だが、実際にどれくらい再生エネルギーを設置するか、木を何本植えるかなどの客観的にわかるように定量化を進めていくことも重要である。

(事務局) 「5.3進行管理のための指標」として「市域の再生可能エネルギー導入容量」等定量化された数値も設定しております。今後新たな指標を設けることを検討する場合は、より客観的な定量化された数値で検討してまいります。

(委員) 前回の審議会でもお伝えしたが、森林環境税について。この税金は流木対策や砂防対策に使われている。本市は山林や川もない。しかし市民は税金を取られているだけで何も還元されない。ですので、活用できそうなことがあればぜひ活用してほしい。

- (会 長) 国や大阪府の補助制度をもっと調べて活用してほしい。
- (事務局) 調査研究いたします。
- (会 長) P 4 7 に三井化学の先進的な取り組みが記載され、すでに実施されているが、どれだけCO₂が削減したかのデータはあるのか。
- (事務局) データは把握しておりません。
- (会 長) 企業秘密なら仕方ないが、先進的であれば素晴らしい取り組みを行っているので、公表が可能なら公表してほしい。
- (委 員) 市の広報紙で見たのですが、年に1回市民に生垣用の苗木を無料配布されていますが、数や回数を増やせば、緑も増えていいのでは。またP 5 2 に記載されている環境廃棄物リサイクルフェアですが、私も参加しています。そういったイベントで子どもたちに配布するなどの環境教育を進めてもらえたらうれしいです。
- (事務局) 生垣用の苗木の配布回数等につきましては、担当である土木部と連携して検討してまいります。また来月実施予定の環境廃棄物リサイクルフェアでは、環境教育や次世代自動車の展示等も行う予定です。
- (委 員) P 2 からP 4 の気象庁が出しているデータの最新版がありますので、提供いたします。また文言等も修正・追記をお願いいたします。
- (事務局) 情報提供ありがとうございます。
- (委 員) 木材の再利用について。大阪府議会では来年度から議員バッチを大阪府で使用されていた木材を再利用して木製のバッチに代わります。高石市でもこのような木のぬくもりを感じられて、環境にやさしい取り組みを進めていただきたい。また次世代自動車ですが、商工会議所には水素自動車もあると聞いています。そういったものもイベント等で展示してもらえればいいのかと。ただ現在は、水素ステーションや電気自動車の充電場所が少ない。こういったことを普及させていくには、公用車の更新時に次世代自動車に切り替えて、市役所等で充電できる場所があれば、市役所を訪れた市民にも環境意識の改革にもつながると思います。
- (事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。
- (会 長) 続きまして、案件第2「その他」を議題といたします。これまでの審議のなかで、その他ご意見等はございますか。
- (各委員) (なしの声)
- (会 長) それでは、本日、ご審議いただきます案件については、以上でございます。事務局、他に何かございますか。
- (事務局) 事務局から、ご報告がございます。ただいま各委員からいただきましたご意見等を反映した計画案により、市民の皆様幅広くパブリックコメントを求めています。第3回の環境審議会では、市民から頂いたパブリックコメントに市の考え方をお示しし、本計画案に反映できるものは反映しまして、次回第3回環境審議会でご審議

していただきたく存じます。なお、パブリックコメントの実施時期ですが、2月25日（金）から3月10日（木）までを予定しております。次回の審議会の日時は3月16日（水）午後2時に開催いたします。正式な案内文は後刻、ご送付いたしますので、よろしく願いいたします。事務局からの報告は以上です。

（会 長）ただ今、事務局から報告がありました。他に、ないようですので、それでは、以上をもちまして令和3年度第2回高石市環境審議会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

【午前11時40閉会】

令和 年 月 日

署 名 人

署 名 人

署 名 人